

2021年度
南山大学

総合型入試
[プレゼンテーション型]
【国際教養学部】
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

1. Read the following article and summarize it in Japanese (about 400 characters). Write your answer on Answer Sheet 1.

When we consider height and nationality, on average, Dutch men and women tend to be taller than those of other nationalities. According to a study published in the *Royal Society Journal Proceedings B*, researchers tracked growth trends in 187 countries since 1914, and found that the average Dutch male is now 184 cm tall, while the average height for Dutch females has risen to 171 cm.

But how the Dutch have become the world's tallest people is quite a mystery. Surprisingly, two centuries ago they were among some of the shortest people among the nations surveyed. A widely believed explanation for the dramatic increase in their average height has been linked to food consumption: a calorie-heavy diet rich in meat and milk products such as cheese and yoghurt is typical of the Netherlands. Nevertheless, academics suggest that this cannot be the only reason why the Dutch are generally so tall compared to other nationalities. Other European countries have enjoyed a similar improvement in living standards in recent decades, yet neither their citizens, nor those of the US, have grown as much, comparatively speaking, as the Dutch. The height of the average male in the Netherlands has increased by 20 cm in the last 150 years, according to Dutch government data. By comparison, the height of the average US male has risen by just a modest 6 cm over the same period and 5 cm for a US female. Indeed, US citizens have slipped right down the international height rankings. Back in 1914, the nation's men were the 3rd tallest in the world and women the 4th tallest. Today they are in 37th and 42nd place respectively.

2021年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型]【国際教養学部】

(第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<国際教養学部 国際教養学科>

In the study, Dr. Gert Stulp, a population health expert now at the University of Groningen in the Netherlands, extensively reviewed the lifestyle and health of over 90,000 people who lived in the northern Netherlands from 1935 to 1967. The researchers found that during this 32-year period, the couples who gave birth to the greatest number of children were made up of men who were taller than average, and yet were partnered by women of average height.

Dr. Stulp's study did not involve testing the DNA of Dutch people, but he observes that DNA and natural selection must have played some role in boosting the height of Dutch men and women. He notes that height is something that we may inherit, something that we may get from our parents, and that taller parents tend to have somewhat taller children than shorter parents. Because taller individuals would have more children in the following generation who would be taller, the average height of that next generation would perhaps tend to be a bit taller on average than the previous generation. Researchers in this field mainly agree, however, that basic environmental factors such as good standards of healthcare, cleanliness and diet – rather than DNA– likely play a far more significant role in determining the average height of a nation's people.

Passage modified from the following sources:

Scientists try to answer why Dutch people are so tall.

Agence France-Presse

The Guardian, April 8, 2015.

Retrieved October 1st, 2020, from

<https://www.theguardian.com/world/2015/apr/08/scientists-try-to-answer-why-dutch-people-are-so-tall>

〈国際教養学部 国際教養学科〉

2. 次の文章を読み、その要点を英語 (150 words 程度) で解答用紙2にまとめなさい。

日本でも、「コミュニケーション教育」という言葉が叫ばれて久しい。昨今はもう、いささかヒステリックなほどに、どこに行ってもコミュニケーションの必要性が喧伝される。たとえば、企業の人事担当者が新卒採用にあたってのもっとも重視した能力について、二五項目のうちから五項目を選んで回答するという日本経団連の経年調査では、「コミュニケーション能力」が九年連続でトップとなっている。ちなみに「語学力」は、ここ数年、六パーセント前後である。

少なくとも、たとえば、語学だけができて、望む企業には就職できないという現実がここにある。実際には、語学のできる学生とコミュニケーション能力の高い学生というのは多少の相関性があるから、やはり語学のできる学生は就職に強いわけだが、もしも語学しかできない学生というのがいると仮定すれば、おそらくその学生は、本人は国際的な企業への就職を望んでも、語学学校の先生くらいしか就職口がないことになる。

ではしかし、企業がこうも強く要求している「コミュニケーション能力」とは、いったい何だろう？ 就活まっただ中の学生たちに聞いてみても、かえってくる答えはまちまちだ。

「きちんと意見が言えること」

「人の話が聞けること」

「空気を読むこと」

結論から先に言ってしまうと、いま、企業が求めるコミュニケーション能力は、完全にダブルバインド(二重拘束)の状態にある。ダブルバインドとは、簡単に言えば二つの矛盾したコマンド(特に否定的なコマンド)が強制されている状態を言う。たとえば、「我が社は、社員の自主性を重んじる」と常日頃言われ、あるいは、何かの案件について相談に行くと「そんなことも自分で判断できんのか！ いちいち相談に来るな」と言われながら、いったん事故が起こると、「重要な案件は、なんでもきちんと上司に報告しろ。なんで相談しなかったんだ」と怒られる。このような偏ったコミュニケーションが続く状態を、心理学用語でダブルバインドと呼ぶ。

現在、表向き、企業が新入社員に要求するコミュニケーション能力は、「グローバル・コミュニケーション・スキル」＝「異文化理解能力」である。「異文化理解能力」とは、おおよそ以下のようなイメージだろう。異なる文化、異なる価値観を持った人に対しても、きちんと自分の主張を伝えることができる。文化的な背景の違う人の意見も、その背景を理解し、時間をかけて説得・納得し、妥協点を見いだすことができる。そして、そのような能力を以て、グローバルな経済環境でも、存分に力を発揮できる。

しかし、実は、日本企業は人事採用にあたって、自分たちも気がつかないうちに、もう一つの能力を学生たちに求めている。あるいはそのまったく別の能力は、採用にあたってというよりも、その後の社員教育、もしくは現場での職務の中で、無意識に若者たちに要求されてくる。日本企業の中で求められているもう一つの能力とは、「上司の意図を察して機敏に行動する」「会議の空気を読んで反対意見は言わない」「輪を乱さない」といった日本社会における従来型のコミュニケーション能力だ。いま就職活動をしている学生たちは、あきらかに、このような矛盾した二つの能力を同時に要求されている。しかも、何より始末に悪いのは、これを要求している側が、その矛盾に気がついていない点だ。

平田オリザ『わかりあえないことからーコミュニケーション能力とは何か』(講談社、二〇二二年)

より抜粋

2021年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型]【国際教養学部】

(第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2020年10月24日実施)

<国際教養学部 国際教養学科>

3. 1または2の文章に関して自分の意見を日本語(400字程度)または英語(150 words程度)で論述しなさい。解答用紙3の日本語または英語のどちらか一方を選択して、書きなさい。



南山大学

入試課 入試運営係

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

2021年度
南山大学

総合型入試
[外国語学部]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2020年10月24日実施)

＜外国語学部 英米学科＞

著作権の関係により掲載しておりません

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科>

以下の2題から1題を選択して答えなさい。解答用紙にはどちらの問題を選択したかはっきり分かるように、問題番号を必ず記入してください。

- (1) 『逢坂剛のスペイン賛歌』（逢坂剛著）から抜粋した次の文章を読み、スペイン・カタルーニャ地方の中心都市であるバルセロナが備える芸術的側面について、冒頭にタイトル（題目）を記した上で、1000字程度であなたの考えを述べなさい。なお、論述を展開させていくなかで、文章に記載されているガウディの「未完の大作」が何であるのかも明らかにしてください。

抜けるような青空に、巨大な八本の石の塔が天に向かって、超然と伸びていた。ガウディが死んだのは1926年。しかし、この幻想的な建物は製作者の死後もその構想に従って、今なおゆっくりと成長を続けている。（中略）この未完の大作をはじめ、市内には彼の設計した数多くの作品が大切に保存されている。（中略）このカタルーニャの生んだ天才建築家の^{ほとぼし}迸るような創作エネルギーは見る者を不思議な幻想空間へと誘い込む。

モデルニスモの建築家として、ガウディとともに大きな功績を残したのが、ドメネク・イ・モンタネールである。その代表作がサン・ペラ通りにあるカタルーニャ音楽堂。1908年に完成したこの建物は、当時すでに衰退のきざしを見せ始めたモデルニスモの終焉を飾るにふさわしく華麗で、光と色彩の見事なシンフォニーが楽しめる。

バルセロナはまた、ピカソが14歳からパリに定住するまでの多感な少年期を過ごした地。ゴシック地区のモンカダ通りに、若き日の巨匠の秀作を集めたピカソ美術館がある。さらにモンジュイックの丘には、バルセロナ生まれの前衛芸術家ミロの記念館が立つ。

海のはるかかなたを指さして立つ、コロンブスの記念碑からカタルーニャ広場まで、約1.5キロの道がランブラス通り。緑陰濃い巨大な街路樹の遊歩道をもつバルセロナで最も優雅な通りだ。（逢坂剛『逢坂剛のスペイン賛歌』講談社、1992年、pp.48-52より）

- (2) 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）には、2030年までに達成されるべき課題のひとつとして、目標（ゴール）4「すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育」の保障が盛り込まれた。そこでは、男女の区別や民族の違い、貧富の格差等に関わりなく、誰もが文字を読み書きでき、学校に通えるよう、世界各国が協力して取り組んでいくことが求められている。先住民やアフロ系を含む多民族社会でもあるラテンアメリカでは、総人口の約30%が貧困層であるとされる（*）。そうしたラテンアメリカにおける教育状況の改善に向け、国際協力のなし得る貢献について、冒頭にタイトル（題目）を記した上で、1000字程度であなたの考えを述べなさい。（ラテンアメリカの一国または複数国を例に挙げて論じてよいし、地域全体を対象とし国際社会の中のラテンアメリカといった視点で論を展開してもよい。）

（*）CEPAL (Comisión Económica para América Latina y el Caribe), 2019, *Panorama Social de América Latina*, 2018, p.79より。

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<外国語学部 フランス学科>

次の文章を読んで設問に答えなさい。

一九九五年五月、欧州戦終結の五〇周年を祝うベルリンでの式典で、当時のフランス大統領フランソワ・ミッテランは次のように述べた。

「ドイツ兵の制服も、また彼らを取りつかれていた思想すら、私にとって重要ではない。ドイツ兵の多くは死に向かった。彼らは勇敢で、命を失うことをも受け入れていた。それは誤った動機のためであったとはいえ、やはり彼らは祖国を愛していたのだ」。「欧州を建設しよう。われわれの祖国を愛しているのだから。過去を未来へつなぎ、平和の精神と証言をわれわれに続くものに伝えよう」。

ミッテランの主張は明快である。第一に、動機は誤っていても、愛国心から戦争を遂行したのなら許されるということ。第二に、愛国心の対象を「国」から欧州に拡大し、それによって欧州内の戦争を繰り返さないということ。この二点である。まず第二の点については、一国単位の偏狭な愛国心を越えたところで、過去の憎しみの歴史を克服しようという呼びかけであり、戦後のヨーロッパが再び戦争を起こすことのないように、統合の道を歩んできたのは異論のないところであろう。ヨーロッパ統合は国民国家を越える一つの大きな試みとされていることは、言うまでもない。ベルリンの式典を報道する『ル・モンド』紙も、「ミッテランは「ヨーロッパ自身に対するヨーロッパの勝利」を称えた」という見出しを掲げ、基本的にヨーロッパの建設に理解をよせる姿勢を示している。

しかし国民国家の枠を越えて欧州を統合することが、第二次世界大戦という過去の全面的な克服にはつながらない。愛する対象をヨーロッパ全域に拡大しても、そこから植民地は抜け落ちてしまうからだ。しかもフランスの場合をみても、まさにこの「愛国主義」の名の下に、植民地進出は称揚されてきたのではなかったか。歴史を振り返れば「植民地帝国」と呼べるものを築き上げた帝国主義の時代は、ナポレオン三世による帝政の終焉を受け、第三共和政政府が共和主義の下に国民意識を醸成していった時代に重なっている。いわば国民国家の再形成期である。その時代に植民地拡張は、まさに「愛国的行為」として鼓舞された。教育の場を通じては小学生にも「植民地は愛国主義と英雄主義の学校である」と教えられたのである。

そうした観点からすれば、ミッテランの主張の第一点には、より大きな問題が含まれることがわかる。これはミッテランが、自らの変節の過去を念頭においての発言であるということもできる。しかし何よりもこの演説からは、旧植民地の人びとが旧宗主国にこう言うだろうか、という疑問が湧きあがる。かつての植民地征服戦争は、フランス人の「愛国心」ゆえに許されるだろうか。植民地の独立を阻もうとした戦争は、そうした理由で正当化されうるだろうか。

さらに本章との関連で、重要な論点がある。レジスタンスと植民地拡張の共通項が、まさにこの「愛国主義」であったことである。戦後のアルジェリア独立戦争の過程では、「フランスのアルジェリア」を主張して独立に反対した人びとのなかに、元レジスタンスの闘士が少なからずいた。たとえばジョルジュ・ビドーには『一つのレジスタンスから、もう一つのレジスタンスへ』という著作があるが、これは対独抵抗運動の延長線上に、植民地の独立阻止のために闘うことを位置づけるものである。先に、フランスが自らの被占領経験と植民地の被占領経験を同質のものと捉えていないことを指摘したが、それはこのアルジェリア戦争を通して、はっきりと示されたと言える。結果的に、植民地がなければドゴールは「ドゴール」たりえなかった、という歴史があったがゆえに、植民地問題は後のレジスタンス神話の陰に正当化され、忘れ去られてしまったようだ。西川長夫が「レジスタンスの神話が戦後フランスの精神的な退廃に深くかかわっている」と指摘しているのは、この意味でも示唆的である。[…]

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<外国語学部 フランス学科>

過去の克服の過程で、一国単位での過去を語ることはもちろん重要である。しかし国家の枠をはずしても浮き彫りになる問題こそが、今日の社会に問われているのではないか。そうした視点に立てば、ユダヤ人迫害や植民地支配の過去はいずれも、より普遍的な問題群を提示していると言えよう。ジャック・ルヴェルはフランスにおける記憶と歴史についての論考で、「記憶の義務」に加えて「歴史の義務」という言葉を用いている。これは歴史研究に普遍的に投げかけられるものと思われる。

(平野千果子『フランス植民地主義と歴史認識』岩波書店、2014年、52-56頁)

〔用語解説〕

「レジスタンス」：第二次世界大戦中にフランスがドイツに占領されたさいの対独抵抗運動。

占領下の国内ではフィリップ・ペタン元帥を首班とする対独協力政権「ヴィシー政権」

が成立した。シャルル・ドゴール将軍は亡命して「自由フランス」を結成し、国外からレジスタンスを指揮した。文中にあるミッテランの「変節」とは、彼がレジスタンスに参加する以前、極右の運動にかかわり、ペタンを支持していたことを指す。

「アルジェリア戦争」：1954年に始まったフランスの植民地支配に対するアルジェリアの独立戦争。1962年のエヴィアン協定で独立が承認された。

〔設問〕

- 1) 筆者はミッテランの発言のどのような点が問題だと考えているのか、説明しなさい(200字以内)。
- 2) 文章の内容を踏まえて、過去の克服という問題について、あなたが思いついた例を交えながら自由に論じなさい(800字以内)。

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<外国語学部 ドイツ学科>

次の文を読み、下記の設問に答えなさい。

【A】ドイツでの狩猟は、特権階級の独占的なスポーツとされてきました。森でドーベルマンなどの猟犬を連れ、黒光する優雅な革製品の猟銃そうび^(a)や出で立ちに、帽子とロヒゲという姿が長らく、そのシンボルでした。ところが、最近では担い手の高齢化と後継者不足、趣味人口全体の減少など、狩猟を取り巻く環境は厳しくなっています。

趣味人口の減少の背景には、レクリエーション活動の多様化や、ライフスタイルの変化に伴って長時間を要する狩猟が他の趣味と競合しづらくなっている状況があると指摘されます。さらに、猟区の使用権価格のこうとう^(b)、猟や毛皮製品に反対する動物福祉運動の高揚、以前は決して悪くなかった森林所有者や森林行政などとの関係悪化などが追い討ちをかけています。(中略)

かつてドイツでは、王様はシカ、貴族はノロジカ、庶民はウサギなど、身分によって狩猟ができる動物種が決まっていました。中世以来ドイツでは、狩猟は社会の秩序を反映する鏡としての活動だったわけです。ドイツの狩猟は、欧州のなかでも貴族に独占されてきた色彩が濃く、現在でも、狩猟の際の歌、服装、作法に関する本があるほど慣習・マナーも多いことが特色です。

【B】「森林官」は、かつては貴族的な職業でした。木材生産の計画と経営、および森林内での違法な行為の取り締まりという警察官と類似した役割の、大きく2つの機能を担ってきました。狩猟の際の規則の遵守^(c)を徹底させるのに加え、林業への影響などを考慮する必要から、狩猟者と森林官の関係は密接です。最近では、自然保護やレクリエーションへの対応なども同時に求められています。(中略)

ドイツには「ファルケンナウの森小屋」という、森林官とその一家を中心としたテレビ番組のホームドラマがあります。20年以上続く定番シリーズで、「大草原の小さな家」のドイツ版というようなものです。番組中の過去10年の変化として、主人公の森林官が猟銃を担いでいるのに使わなくなったことが指摘されます。林業(森林官)と自然保護に対するイメージが変わり、狩猟行為が悪くみられるようになったのです。現在、林業と狩猟と自然保護はさまざまな局面で対立したり、お互いに協力したりして、入り乱れた関係にあります。中心的な論点は、野生動物の生息数をめぐる引っ張り合いです。三者の主張をそれぞれ順番にみてみましょう。

林業サイドの言い分を要約します。野生動物の生息数が多すぎると、新しい芽が食べられたり、樹皮が剥がれたりと被害が大きくなり、木材価格の下落など経済的に厳しい今の状況では生息数を減らしてもらうのが一番。特にドイツの森林政策は、いっさい植林を行わず、さまざまな樹種の芽が自然に出てくる「天然更新」を促進するように移行していることもあって、ある種の樹種だけが野生動物に好まれて食べられた結果、予定していた森林の樹種構成がおかしくなってしまうという事態も生じてしまいます。

一方で、ハンターにとっては、短い時間でなるべく多くの獲物にありつくチャンスが望

2021年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2020年10月24日実施)

<外国語学部 ドイツ学科>

まれます。狩猟区画の使用権、狩猟権の価格が上昇し、より多くの獲物が撃てる区画に人氣が集中しています。それを受けて冬の間に（抗生物質を混ぜた）餌付けをしてまで野生動物の数を増やそうとする不正な動きもあります。

自然保護団体の立場からは、ことはそう単純ではありません。冬期の餌付けに反対して個体数を制限し、天然更新を促進するという大筋では、林業サイドと路線が一致しています。しかし、きしょう(a)植物などの特定のテーマや森林管理・野生動物の管理については、林業サイドと距離があるのも事実です。また、オオカミなど大型肉食獣を導入して、草食動物の数を抑制するという案も自然保護推進派から出ています。実際の個体数減少への効果については、森林管理局の科学者でワイルドライフ・マネジメント専門家のズーハント博士などが疑問を投げかけている一方で、家畜等への被害などを危ぶむ声もあがっており、かつて生息していたオオカミ、ヤマネコ、ハイイログマなどの再導入には至っていません。ズーハント博士は、自然のバランスを取り戻すという考え方自体が人間の発想であり、植生を食い荒らして野生動物の個体数が激減するのも自然のバランスだし、野生動物の個体数が大きく変動することも自然なのだと戒めています。

このように野生動物の生息数の議論には、冬期の餌付け、野生動物が新梢(e)を食べてしまうことによる林業への食害や、野生動物による樹皮剥ぎ、林業の方向転換など、さまざまな問題や政策が絡み合っています。

EICピックアップ58「ドイツの森林」執筆者：香坂玲、坂田宏志（一部改変）

[設 問]

1. 文中の下線部(a)～(e)の、ひらがな部分には漢字を、漢字部分には読み仮名を記しなさい。
2. ドイツの狩猟の特徴と現状を、200字以内で説明しなさい。
3. 【B】以下の文を400字以内で要約しなさい。
4. あなたは、文中のズーハント博士の考えについて、どう考えますか。400字以内で述べなさい。

二〇二一年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇二〇年一〇月二四日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

試験問題： 次の「文章」を読み、「設問」の問1～問8に答えなさい。

「文章」

2019年現在、世界中で約44億の人々がインターネットへのアクセスを持ち、そのうち35億人がソーシャルメディアを利用しているという。フェイスブックやツイッター、インスタグラムといったSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ユーチューブやニコニコ動画のような動画共有サイト、ラインやワッツアップのようなメッセージングアプリは、もはや現代人の日常生活に欠かせないツールになっているといえよう。

ソーシャルメディアとは、ユーザー（利用者）が参加することによって、その内容や利用方法が常に変化するような①情報媒体である。それがソーシャル（社会的）たりうるのは、ユーザーが提供する情報が、多くの他のユーザーの思考や行動に対して影響を与えるからである。まず、ソーシャルメディアにおいては、インターネットにアクセスできる環境さえあれば、誰もが非常に低いコストで情報を発信することができる。そして自分が発信した情報は、人々の反応（「いいね！」や「リツイート」「シェア」）によって、さらに目立つ場所に表示されるようになる。他者からの注目や反応はちょっとした快感をもたらし、ユーザーにさらなる情報の発信を促す。また、関連する情報を集めたハッシュタグ（#）の機能によって、自分の興味や②価値観にあった情報を瞬時に見つけることができる。そして自分から探すまでもなく、アルゴリズムと呼ばれるコンピューターの計算方法によって、ユーザーの好みに合わせた情報が常に提供される。自分の投稿やフォローの傾向によって、「おすすめ」のユーザーや広告が表示されるのはその一例である。アルゴリズムは人工知能（AI）の進歩によって、日々向上している。ソーシャルメディアの浸透は、人々の日常的なコミュニケーションの方法や世論形成のあり方を大きく変え、したがって政治にも変化をもたらすようになった。

誰もが意見や情報を発信することができる点で、ソーシャルメディアは民主化に前向きな影響を与える重要なツールであると言える。たとえば、2011年に始まったいわゆる「アラブの春」において、チュニジアとエジプトでは、若者たちがツイッターやフェイスブックで集会を呼びかけ、瞬く間に政権批判の波を拡大させた。両国における権威主義体制の崩壊は、驚くほど短期間のうちに実現した。最近では、政府に対する激しいデモが続く A の事例がすぐに思い浮かぶだろう。2019年6月以降、逃亡犯条例改正案をきっかけに、ソーシャルメディアを駆使した抗議運動には少なくとも数十万の人々が参加した。この運動は、2020年に入っても世界中の人々の関心を集めて継続している。

（中略）

東南アジアは、世界的にみてもソーシャルメディアの普及率が非常に高い地域である。2019年1月の調査によれば、13歳以上の普及率は世界平均の58%に対し、域内では78%にのぼる（日本は69%）。さらに、東南アジアの人々がソーシャルメディアにかかる時間は、世界でも群を抜いて長い。世界平均は1日2時間16分、日本はわずか36分であるのに対し、フィリピンでは1日平均 X、インドネシアでは Y をソーシャルメディアに費やしている。

二〇二二年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇二〇年一〇月二四日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

(中略)

フィリピンのネットメディア「ラップラー (Rappler)」は、「アジアのトランプ」ともいわれる **B** 大統領への最も勇敢な批判者であり、報道を通じて政権の横暴を手厳しく追及してきた。また、特定の個人や集団への攻撃、ひいては人権侵害の原因ともなりうる **C** ニュースの拡散を防ぐため、細かいファクトチェック (ニュースや政治家の発言などの真偽検証) も行っている。同サイトのフェイスブック購読者は402万人にのぼり、**B** 大統領 (435万人) に迫る勢いである。まさに、権力のウォッチドッグ (番犬) としての役割を果たそうとしているのである。

マレーシアでは、選挙制度の改革や汚職の撲滅を求めるブルシ (清潔) 運動が2007年から10年以上継続し、長期政権をじりじりと追い詰めた。運動の継続と同国史上稀にみる規模の路上での動員の実現には、ソーシャルメディアが不可欠だった。さらに、2015年には、**D** 首相 (当時) の汚職疑惑がやはりワツアツプを通じて多くの国民の知るところとなった。首相の汚職疑惑は、政権が統制するテレビや新聞などの国内メディアではほとんど報道されなかったものの、ワツアツプで海外のニュースが転載、そして拡散されたのである。ブルシ運動が多くの人々の関心と支持を引きつけて野党連合を支援した結果、2018年総選挙ではマレーシア史上初の政権交代が実現した。

インドネシアでは、ソーシャルメディアが2014年に大統領となった **E** の当選を後押しした。**E** は2005年に地方都市の市長に当選する前は一介の零細企業の社長であつた。そして、1998年の民主化後も継続していたエリート支配を打破する初の「庶民派大統領」として人気を集めた。また、ソーシャルメディア上の批判の高まりによつて、国民の権利を制限するような法案の国会審議が止められたり、政府の方針が変更されることもたびたび生じるようになっていく。たとえば、2014年には地方首長の直接選挙制度を廃止しようとする国会の決定が覆された。2019年9月には、国会会期末に行つた **F** を含む法改正への批判が高まり、学生が路上に繰り出してその後の審議をすべて停止させた。

ミャンマーでは、ソーシャルメディアの解禁によつて、軍事政権下で長年自宅に幽閉されていた **G** の写真やメッセージが多くの人々の手元に届くようになった。その結果、2015年には **G** 率いる政党が総選挙で圧勝した。東南アジアでも、一般の人々がソーシャルメディアを利用することで、さまざまな局面で政治指導者や政権与党への監視圧力を格段に強めていることがわかる。

〔文章、ここまで〕

(〔文章〕は、見市建・茅根由佳「ソーシャルメディアと東南アジアの民主主義」、見市建・茅根由佳 (編) 『ソーシャルメディア時代の東南アジア政治』、序章、7―20頁、明石書店、二〇二〇年、より引用)

二〇二二年度南山大学総合型入試【外国語学部】問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 一〇〇点

(二〇二〇年一〇月二四日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

〔設問〕

問 1 傍線部 (1)、(2) の語句が表すものに最も近い表現を次の (a) ～ (d) の中からそれぞれ 1 つ選び、その記号を答えなさい。

(1) 情報媒体

- (a) 情報処理 (b) 宣伝方法 (c) 伝達手段 (d) 通信様式

(2) 価値観

- (a) 深部感覚 (b) 評価基準 (c) 交換価値 (d) 価値共創

問 2 に入るアジアの都市名を答えなさい。

問 3 「 ニュース」という言葉が、「影響力の大きい、真実とは異なる情報」という意味を表すよう、 に入る外来語 (英語) を片仮名で答えなさい。

問 4 — に入る時間数のペアとして最も適したものを次の (a) ～ (d) の中から 1 つ選び、その記号を答えなさい。

- (a) 58 分 — 49 分 (b) 1 時間 8 分 — 52 分
(c) 2 時間 35 分 — 2 時間 26 分 (d) 4 時間 12 分 — 3 時間 26 分

問 5 、、、 に入る人名として最も適切なものを次の (a) ～ (d) の中から 1 つずつ選び、その記号を答えなさい。

- (a) ジョコウイ (b) スーチャー (c) ドウテルテ (d) ナジブ

問 6 に入る表現として最も適したものを次の (a) ～ (d) の中から 1 つ選び、その記号を答えなさい。

- (a) 汚職推進委員会の権限縮小 (b) 汚職推進委員会の権限拡大
(c) 汚職撲滅委員会の権限縮小 (d) 汚職撲滅委員会の権限拡大

〈外国語学部 アジア学科〉

問 7 次の一節は、根 拠と、結論「ソーシャルメディアは人々の政治参加のハードルを下げ、政治体制や社会の規範をも揺るがす民主的なツールとなっている」から成る。この一節を完成させるため、根 拠にあたる適当な事例を、「文章」に挙げられている東南アジアの事例を使って四〇〇字以内でまとめなさい。

根 拠。以上から、ソーシャルメディアは人々の政治参加のハードルを下げ、政治体制や社会の規範をも揺るがす民主的なツールとなっていることがわかる。

問 8 「文章」に関連して、「ソーシャルメディアは、その機能の活用の仕方によっては多様な利益や価値観の存在から目をそらし、偏狭で同一的な世界に人々を閉じ込めてしまう」という指摘がなされている。これは、ソーシャルメディアの負の側面に対する指摘である。この指摘に関し、次の(一)、(二)、(三)のすべてを満たすよう、四〇〇字以内で記しなさい。

- (一) あなたにとって身近な事例の中から、このようなソーシャルメディアの負の事例を一つ挙げること。
- (二) どのような原因によって(一)の事例が引き起こされるのかを述べること。
- (三) どのような過程を経て(一)の事例へと至るのかを述べること。

〔設問、ここまで〕



南山大学

入試課 入試運営係

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)
Fax 052-832-3592
nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>